

8 衆議院議員総選挙の臨時啓発

(1) 第49回衆議院議員総選挙啓発推進事業要綱

第1 趣 旨

明るい選挙を実現するためには、すべての国民が選挙の意義を自覚し、選挙のルールを守り、進んで投票に参加することが必要である。

このため、今回の第49回衆議院議員総選挙においては、きれいな選挙の推進と投票参加の呼びかけを重点に、投票率の低下傾向に歯止めをかけるための啓発事業を行うこととする。

また、選挙期日までの期間が短いことから、効率的及び効果的な啓発を図るとともに、期日前投票や不在者投票等の投票方法、選挙の管理執行における新型コロナウイルス感染症への対応等の周知徹底を図り、この選挙が円滑に執行されるよう配慮するものとする。

第2 重点事項

1 きれいな選挙の推進

選挙の正しいルールについて、一層の周知徹底を図り、買収・供応等の悪質な選挙違反を一掃し、選挙人が自由な意思で投票をすることができるようにする。

また、国政における衆議院の役割に対する認識を一層深め、政党等や候補者の主義・主張を十分見極めて、自覚ある投票をするように呼びかけることとする。

2 投票参加の推進

選挙は、主権者たる国民が国政に参加する最も重要で基本的な手段であり、投票することが主権者たる国民の権利であるとともに、民主政治の健全な発展に不可欠であることを周知徹底する。

また、近年の選挙においては、特に将来を担う若年層を中心に投票率の低下傾向が続いており、18歳の方々を初めとした若年層の選挙に対する意識の高揚に努めるとともに、各種広報媒体の効果的な活用を図るほか、投票棄権防止に重点を置いた積極的な啓発を実施する。

3 投票方法等の周知徹底

期日前投票制度や不在者投票制度など投票方法について引き続き周知に努めるとともに、有権者の投票環境の向上を図るため、商業施設等への期日前投票所の設置、期日前投票の投票時間の弾力的な設定及び移動支援等の取組を実施するに当たっては、その内容の周知に努める。

また、指定施設における不在者投票が、法令に基づき厳正に執行されるよう事務手続の周知に努める。

第3 啓発事業の進め方

県及び市町村の選挙管理委員会が主体となり、明るい選挙推進協議会をはじめ学生投票率100%をめざす会、報道機関、社会教育機関等、関係機関の積極的な協力も得ながら、啓発事業を推進する。

また、選挙人に対して、投票所等において必要な感染症対策を講じていることを周知するとともに、国政選挙は国の将来を託す代表者を選ぶ重要な機会であることから、自身の予防対策もした上での積極的な投票参加を呼びかけることとする。

第4 実施事業

選挙期日、投票方法等の周知を図るとともに、きれいな選挙の推進及び投票参加を呼びかけるため、以下の事業を実施する。

1 県が実施する啓発事業

(1) 文書等による啓発

ア ポスター・チラシによる啓発

県が作成する啓発用ポスターを市町村、関係団体等に配布する。

イ 広報誌等による啓発

県が発行する広報誌等を利用した啓発を行う。

ウ 選挙公報による啓発

選挙公報の紙面余白を利用した広報を行う。

(2) 広告塔等による啓発

ア 電光ニュースによる啓発

電光ニュースを利用した広報を行う。

(3) マスコミによる啓発

ア テレビ放送による啓発

テレビ放送によるテレビスポット放送広告を利用した広報を行う。

イ ラジオ放送による啓発

ラジオ放送によるラジオスポット放送広告を利用した広報を行う。

ウ 新聞による啓発

新聞の広告紙面を利用して、投票日の周知等の広報を行う。

(4) 放送設備による啓発(職域放送による啓発)

県地域振興局本庁舎等の庁内放送を利用した広報を行う。

(5) 自動車等による啓発

ア 広報車による啓発

県広報車を巡回運行させ、投票日の周知と棄権防止を呼びかける。

イ 車内広告による啓発

市電、路線バス等へのポスター等貼付による広報を行う。

(6) その他の啓発

ア 市町村への啓発依頼

市町村に対し、それぞれの管内における選挙人に対する啓発強化推進について、協力依頼する。

イ 企業等への啓発依頼

企業や関係団体等へ文書による協力依頼等必要な啓発事業を実施する。

ウ インターネットによる啓発

県ホームページ、SNSなどインターネットを活用した選挙期日や選挙の正しいルール等の広報を行う。

エ 不在者投票指定施設への啓発

不在者投票事務従事者の職務内容や心構えを明確にするため、文書により注意喚起を行う。

2 市町村が実施する事業

(1) ポスターによる啓発

県から配布される啓発用ポスターを、庁舎、公民館、商業施設、バスターミナル等に掲示するとともに、県から配付される啓発用資材及び市町村独自で作成する資材等を利用した広報を行う。

(2) 放送設備による啓発

ア 有線放送等による啓発

市町村又は集落等所有の有線放送等を利用した広報を行う。

イ 庁内放送による啓発

市役所、町村役場の庁内放送を利用した広報を行う。

(3) その他

上記事業のほか、企業や関係団体等へ、文書による協力依頼等、それぞれの市町村の実情に応じ、創意、工夫をこらして、この運動の趣旨に沿った事業を積極的に展開し、明るい選挙の推進と投票参加への自覚を促すものとする。

(2) 衆議院議員総選挙における啓発事業

ア 啓発方針

近年、30歳代までの若年層を中心に、低投票率の傾向にあり、10月31日執行の衆議院議員総選挙においても、同様の傾向が危惧される。

ついては、主として、18・19歳を含む若年層の投票率向上に効果的な選挙啓発を企画し、広く県民に対し投票日の周知や棄権防止等と呼びかける。

また、投票所の感染防止対策を周知することで、安心安全に投票可能であることを訴え、選挙の円滑な執行を図る。

イ 著名人を起用した啓発事業について

(ア) 企画の趣旨

若年層を中心とした投票率の向上を図るため、鹿児島県出身東京五輪サッカー日本代表の大迫敬介選手を起用。

サンフレッチェ広島でゴールキーパーとして活躍中の、鹿児島県出身の大迫敬介選手に「その一票へ踏み出す勇気を！」と投票を前向きにメッセージしてもらうことで、棄権防止や投票率向上につなげる。

(イ) 啓発CM放送回数

- ・テレビ 15秒CM：140本
- ・ラジオ 60本
- ・屋外ビジョン 2,140回

(AMUビジョン、天文館ビジョン、Li-Ka1 F1920 デジタルサイネージ)

(ウ) 啓発ポスター発行部数

7,030枚 (B2：2,448枚、B3：4,582枚)

配布先：県内の国・県関係機関、市町村、学校(大学・専修学校等)、企業、JRの駅、商業施設、スーパー、コンビニ等

ウ 1分動画の作成について

(ア) 企画の趣旨

投票への参加動機を高めるために、今回の選挙で何に対して投票するのか？という背景を理解してもらうとともに、若年層に対して、なぜ投票すべきか？という事実を理解してもらうために約1分間で手軽に視聴できる動画を作成。

(イ) 啓発動画

a タイトル：1分でわかる！投票の仕方・流れ

内 容：投票所入場券が届いてから投票までの流れ，期日前投票について紹介。

掲載場所：YouTube（鹿児島県公式チャンネル※選挙期間中は特設WEBサイト）

b タイトル：選挙に行った方がいい3つの理由

内 容：若者が選挙に行った方がいい3つの理由を紹介。

掲載場所：YouTube（鹿児島県公式チャンネル※選挙期間中は特設WEBサイト）

c タイトル：日本近未来ばなしまんねん寝太郎

内 容：毎回選挙に行かない寝太郎たちの未来はいったいどうなるのか。選挙に行っておけばよかったという気持ちになる物語。

掲載場所：YouTube（鹿児島県公式チャンネル※選挙期間中は特設WEBサイト）

(ウ) テレビ，ラジオでのパブリシティ

- ・出演テレビ KKB鹿児島放送（番組名：ですです。）
- ・出演ラジオ MBCラジオ（番組名：たんぽぽ倶楽部）
エフエム鹿児島（番組名：あさcafé）

エ 他の啓発事業

(ア) インターネット広告（総表示回数：3,792,378回）

- ・Yahoo! ブランドパネル（表示回数：424,366回）
- ・YouTube インストリーム広告（表示回数：355,163回）
- ・Twitter 広告（表示回数：439,639回）
- ・Instagram 広告（表示回数：154,275回）
- ・Facebook 広告（表示回数：47,324回）
- ・Google バナー広告（表示回数：553,013回）
- ・Yahoo! バナー広告（表示回数：1,818,598回）

(イ) 特設WEBサイトの開設

期日前投票の日程・場所の案内や投票所における感染症対策，選挙の知識を深める1分間動画等を掲載

(ウ) 啓発新聞広告

- ・南日本新聞 5段1/4モノクロ 8回掲載（10/20, 25, 26, 27, 28, 29, 30, 31）
- ・南海日日新聞 半5段モノクロ 1回掲載（10/31）

(エ) 懸垂幕の掲出（3本）

掲出場所：山形屋ビル，アイムビル，公社ビル

(オ) 県出先機関・各市町村による巡回広報の実施

(カ) KADAIINFO（鹿大生のための情報サイト）とのタイアップ記事 2 本掲載
(10/20, 22)

(キ) 銀行店内における広告掲出

- ・ 鹿児島銀行 店内 CM にてテレビ CM の放映
- ・ 南日本銀行 店内サイネージでポスター静止画の放映

(ク) 学生投票率 100%をめざす会（STEP）による啓発

オリジナル啓発ポスターを 450 枚作成し，市町村，学校（大学・専修学校等），
大学周辺の事業所へ配布

啓発事業スケジュール（第49回衆議院議員総選挙）

啓発事業の種類		以前	16 土	17 日	18 月	公 示 日	20 水	21 木	22 日	23 土	24 日	25 月	26 火	27 水	28 木	29 金	30 土	投 票 日	備 考
文 書	ポスター・チラシ					○												→	官公署、事業所等に配布 JR 駅貼り等 路線バス、電車（公共交通機関）
	電光ニュース					○												→	AMU ビジョン、天文館ビジョン、 Li-Ka1920 デジタルサイネージ
	広告塔等 懸垂幕					○												→	山形屋、アイムビル、公社ビル
マ ス コ ミ	テレビスポット					○												→	民放4社
	ラジオスポット					○												→	民放2社
	新聞等広告						○					○						→	南日本新聞、南海日日新聞
放 送 音 声	職域放送					○												→	官公署等
	広報用CD、SDカード					○												→	県関係機関、市町村用
そ の 他	市町村、企業等協力依頼																	→	文書依頼
	インターネット					○												→	特設サイト、バナー広告、動画広告（YouTube など）

第４９回衆議院議員総選挙における啓発事業実績

起用キャラクター

大迫敬介（U-24男子サッカー日本代表）

媒体名	実施有無	事業概要	実施期間
ポスター	○	6,530枚（B2(ﾀ)：2,448枚，B3(ﾀ)：4,082枚）を県内の国・県関係機関，市町村，大学，専修学校，高校，企業，団体，ＪＲの駅，デパート，スーパー，コンビニ等に配布	10月19日～10月31日
チラシ	×		
新聞広告	○	５段1/4のカウントダウン広告を南日本新聞は８回 半５段の広告を南海日日新聞は１回（投票日）掲載	10月20日，25～31日
ホームページ	○	特設WEBサイトの開設	10月19日～10月31日
ＳＮＳ	○	Twitter，Facebookの県選管のアカウントで投票日等を周知	10月19日～10月31日
インターネット動画広告	○	Yahoo!動画広告，YouTubeインストリーム広告，ＳＮＳ広告（Twitter，Instagram，Facebook）	10月19日～10月31日
バナー広告	○	Yahoo!，Googleにバナー広告を掲出（表示回数：2,371,611回）	10月19日～10月31日
アドネットワーク広告	×		
交通広告（車内・駅）	○	鹿児島市交通局電車，鹿児島市交通局バス，鹿児島交通バス，南国交通バスにB3ポスター（500枚）を掲出	10月19日～10月31日
屋外広告	○	天文館ビジョン，AMUビジョンによる動画広告，デジタルサイネージによるポスター掲示	10月19日～10月31日
テレビスポットCM	○	15秒 各35本（MBC，KTS，KKB，KYT）	10月19日～10月31日
ラジオスポットCM	○	20秒 各30本（MBCラジオ，FM鹿児島）	10月19日～10月31日
広報誌	×		
雑誌広告	×		
点字広報	○	点字パンフレット（973部）を県出先機関・市町村に配布	
モバイルメール広告	×		
ムービースポット	×		
文字放送	×		
横断幕・看板	○	懸垂幕（3本）を山形屋・アイムビル・公社ビルに掲出	10月19日～10月31日
広報車	○	県出先機関12箇所，県内40市町村で実施（CD56枚，SD61枚）	10月19日～10月31日
街頭啓発・イベント等	×		
若者向け啓発事例	×		
啓発資材	×		
その他（媒体名記載）	○	鹿児島大学生に向けた情報サイト（K A D A I I N F O）にタイアップ記事を掲載（2本）	10月20日，22日

U-24男子サッカー
日本代表
サンフレッチェ広島
GK 大迫 敬介
鹿児島県出身(22歳)



その1票へ
踏み出す勇気を

「投票日」

10.31

午前7時
▼
午後8時
(一部投票所を除く)



第49回

衆議院議員総選挙

第25回 最高裁判所裁判官国民審査

当日用事のある方は「期日前投票」をご利用ください。

期日前投票 10/20(水) ▶ 10/30(土) ※一部投票所を除きます。詳しくはこちら→

※新型コロナウイルス感染症で宿泊療養・自宅待機等をしている方で、一定の要件に該当する方は郵送による「特別郵便等投票」ができます。



しっかり
投票。
きちんと
対策。



投票所の主な対策

の投票管理棟、立会人、投票事務従事者はマスクを着用します。の手拭用アルコール消毒液を設置します。
以定期的に換気を行います。お投票用紙配給台は開隔を空けて設置します。
投票用紙にはお持ちの鉛筆で記入することができます。

鹿児島県選挙管理委員会・鹿児島県明るい選挙推進協議会

その1票へ踏み出す勇気を

U-24男子サッカー
日本代表
サンフレッツエ広島
GK 大迫 敬介
鹿児島県出身(22歳)



「投票日」
10:31
午前7時
午後8時
(一部投票所を除く)
日

第49回 衆議院議員総選挙

第25回 最高裁判所裁判官国民審査

当日用事のある方は「期日前投票」をご利用ください。

期日前投票 10/20(水)▶10/30(土)

詳しくはこちら▶



※新型コロナウイルス感染症で宿泊療養・自宅待機等をしている方で、一定の要件に該当する方は前述による「特別郵便等投票」ができます。

しっかり
投票し
きちんと
対策



来場前後で手洗い



咳エチケット



距離を保つ

投票所の主な対策

※投票所では、立会人・投票監視役等はマスクを着用し、必ず着用アルコール増量液を配布します。
※定期的に換気を行います。※投票用紙は密着した状態で投票します。

投票用紙にはお持ちの鉛筆で記入することができます。

鹿児島県選挙管理委員会・鹿児島県明るい選挙推進協議会

テレビ・ラジオスポットによる啓発

パブリシティ原稿

鹿児島県選挙管理委員会からのお知らせです。

10月31日 日曜日は、第49回 衆議院議員総選挙の投票日です。

これからの日本を作る、大切な選挙です。
皆さんの一票が、未来を創るための力になります。
棄権することなく必ず投票しましょう。

投票日に仕事や用事などで投票できない方は、
10月20日から10月30日まで期日前投票ができます。

期日前投票ができる場所、時間などは
お住まいの市町村によって異なりますので
各市町村の選挙管理委員会までお問い合わせください。

また、投票所は感染症対策に取り組んでいますが、
投票所にお越しの際はマスク着用など基本的な
感染症対策をして、お越してください。
なお、投票用紙にはお持ちの鉛筆で記入することもできます。

「その一票へ踏み出す勇気を。」
鹿児島県選挙管理委員会からのお知らせでした。

※局によって原稿内容が若干異なります。

(4) 衆議院議員総選挙に係る委員長談話

令和3年10月31日執行の衆議院議員総選挙に係る
県選挙管理委員会委員長談話

今回の選挙の投票率は、小選挙区が57.71%となり、前回、4年前の衆議院議員総選挙（平成29年10月22日執行）時の56.09%と比較すると1.62ポイントの増となりました。

今回の選挙は、コロナ禍で行われたことから、当委員会といたしましても、有権者の皆様に安心して投票に御参加いただけるよう、市町村選挙管理委員会の協力を得ながら、投票所における新型コロナウイルス感染症対策に取り組み、その周知に努めたところです。

また、近年は30歳代までの若年層を中心に、低投票率の傾向にあることから、特に若年層に対する、SNSなどを通じた、より効果的な啓発活動を心がけてまいりました。

幸いにも、結果として前回は上回る投票率となりました。

選挙は自分達の将来を託するに足る代表者を選ぶ大切な機会であり、その選挙の主役は、一票を投じる自分たち自身であることを、若い世代をはじめとした有権者の方々に対してお知らせすることで、一人でも多くの方々に大切な権利を行使していただけるよう、今後とも選挙啓発に取り組んで参りたいと考えています。

令和3年10月31日
鹿児島県選挙管理委員会
委員長 松下 良成